



UNHCR
The UN Refugee Agency

2010年7月20日

第5回 UNHCR 難民映画祭 2010

UNHCR 駐日事務所および国連 UNHCR 協会は、毎年ご好評を頂いております UNHCR 難民映画祭を 2010 年の 10 月に開催致します。UNHCR 難民映画祭は、世界各地で迫害や紛争を逃れ、今なお避難生活を強いられている 4300 万人以上もの難民・避難民に関する認識の向上を目指して開催して参りました。5 回目を迎える本年度の映画祭では、約 20 作品の上映に加え、映画監督やスペシャル・ゲストなど様々な関係者をご招待する予定です。

2010 年は日本にとってミャンマー難民の受け入れプロジェクトの初年度にあたる年です。今年の映画祭では日本初上映となるハイライト作品の一つである『遙かなる火星への旅』(仮) (監督: 『僕たちのグアタナモ』のマット・ホワイトクロス/原題: **Moving To Mars**) は、ミャンマーからイギリスのシェフィールドに第三国定住をする二家族の姿を追ったドキュメンタリーです。難民にとっての「(第三国) 定住とインテグレーション (社会への統合)」というテーマに注力した今年の難民映画祭では、難民と彼らを受け入れる日本にとって同じ社会で生きていくことが一体何を意味するのかを考えるきっかけを提供できればと考えております。

また 2006 年の開始以来、これまで東京のみで開催して参りました UNHCR 難民映画祭により多くの日本の皆様にご来場頂けたらと願い、今年度は北海道から九州までの全国各地における上映を開催致します。

プログラム (ハイライト作品)



『遙かなる火星への旅』(仮題) (原題: Moving to Mars) 日本初上映

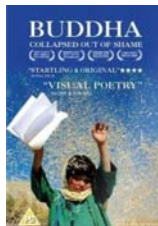
イギリス/2009/英語・ビルマ語/90分/ドキュメンタリー

監督: マット・ホワイトクロス

■2010年 One World Human Rights Documentary Film Festival、オフィシャル・セレクション

■2009年 IDFA アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭、オフィシャル・セレクション

祖国を追われ、タイの難民キャンプで 20 年近く暮らしてきた二つの家族。やがて彼らの生活は、ある出来事をきっかけに大きく変化することとなる。『遙かなる火星への旅』ではビルマ (ミャンマー) 難民としてタイから第三国定住プログラムの制度を通じてイギリスのシェフィールドという町にやってくる彼らの姿を丁寧に描く。彼らにとって新しい土地での暮らしは、全てが未知の世界だった...



『子供の情景』横浜でのオープニングイベント上映

(原題: Buddha Collapsed Out of Shame)

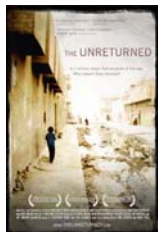
イラン、フランス/2007/ダリ語/81分/フィクション

監督: ハナ・マフマルバフ

■2007年サンセバスチャン国際映画祭、審査員賞

■2008年ベルリン国際映画祭、クリスタル・ベア賞/＜平和映画＞賞

アフガン人の 6 歳の少女バクタイは新しく開校した女子生徒のための学校に通うことを夢見ている。貧しさと母親の無関心を乗り越え、四苦八苦の末にようやく学校へ向かうバクタイだが、途中で少年達に取り囲まれてしまう。残酷なその少年たちは、自分たちが目撃してきた戦争ごっこで彼女を怖がらせるのだった。



『還らざる人々』(原題: The Unreturned) 日本初上映

アメリカ、カナダ/2010/アラビア語、英語/75分/ドキュメンタリー

監督: ネイサン・フィッシャー

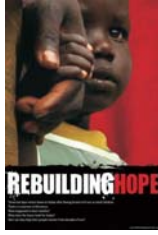
■2010年ヒューマン・ライツ・ウォッチ国際映画祭、オフィシャル・セレクション

2003 年以降、イラクでは中産階級の約 4 割の人口が国外へと流出した。『還らざる人々』では、そうしたイラク人 5 人とその家族を描く。彼らの存在無くしてイラクに電力や清潔な水、衛生管理や保健サービスの供給は望めない。祖国の専門家たちが帰還を果たさない限り、破壊されつくしたこのイラクという国は自らの力で復興を果たさえないであろう。



UNHCR
The UN Refugee Agency

PRELASE RELEASES



『希望をもう一度』（原題：Rebuilding Hope）日本初上映

アメリカ／2009／英語／78分／ドキュメンタリー

監督：ジェン・マーロウ

■2010年パリ国際人権映画祭、オフィシャル・セレクション

幼少期に内戦下の南部スーダンの故郷を追われ、アメリカに定住した3人の青年。『希望をもう一度』は彼らが数年後に祖国を訪ね、その後消息を知ることさえ出来なかった家族を訪ねる旅の様子を描く。そして凄惨な紛争が終結し、祖国の現状を自ら知ることで、コミュニティの復興に向けて自分たちに何が出来るのかを探る。

開催概要

《首都圏版》

- 【会期】 10月1日（金）－ 10月10日（日）
- 【会場】 イタリア文化会館（東京）、セルバンテス文化センター（東京）、ワーナー・マイカル・シネマズ浦和美園（埼玉）、ワーナー・マイカル・シネマズみなとみらい（神奈川）、イオンシネマ越谷レイクタウン（埼玉）
- 【主催】 国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所、国連 UNHCR 協会
- 【特別協賛】 イオン1%クラブ、キヤノン株式会社
- 【協賛】 外国法共同事業法律事務所リンクレーターズ、ソニー株式会社、トヨタ自動車株式会社
- 【協力】 イオンシネマズ株式会社、イタリア文化会館、セルバンテス文化センター、日本映像翻訳アカデミー、株式会社ワーナー・マイカル、他

《全国版》

- 【会期】 10月15（金）、16（土）、22（金）、23（土）、29（金）、30（土）のうち何れかで以下の各会場での上映（詳細は後日発表）
- 【会場】 ワーナー・マイカル・シネマズ江別（北海道）
イオンシネマ越谷レイクタウン（埼玉）
ワーナー・マイカル・シネマズ港北ニュータウン（神奈川）
イオンシネマ高崎（群馬）
ワーナー・マイカル・シネマズ三田ウッディータウン（兵庫）
ワーナー・マイカル・シネマズ福岡ルクル（福岡）
- 【主催】 国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所、国連 UNHCR 協会
- 【特別協賛】 イオン1%クラブ
- 【協力】 イオンシネマズ株式会社、株式会社ワーナー・マイカル

- 映画祭期間中には様々なゲストをお招きしてイベントを開催する予定です。
- プログラム・上映スケジュールに関する情報は随時公式サイトにて発表して参ります。

<http://unhcr.refugeefilm.org>

- 各会場において、皆様からのご寄付を募っております。

国連難民高等弁務官(UNHCR) 駐日事務所 広報室
150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 6階
Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272
<http://www.unhcr.or.jp>

UNHCR の支援活動は皆様のご寄附に支えられています。ご寄附は UNHCR の公式支援窓口である国連 UNHCR 協会を通じてお願いします。国連 UNHCR 協会 Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273
<http://www.japanforunhcr.org>

